



ひと口赤ちゃんメモ

今回は、「赤ちゃんとベビーサイン」についてのお話です。

0歳の赤ちゃんにとって、単語をきちんと発声するのは難しいことですが、それに比べると指は器用に使えます。そのため、赤ちゃんに、例えば「おなかがすいたらこのサインをするのよ」と教えると、赤ちゃんはことばで言うよりも早くから、サインを使って自分の要求を表現でき、その結果コミュニケーションがうまくいくようになる、ということで注目されたのがベビーサインです。



ベビーサインとことばの似ているところは、サイン（単語）で何かを指し示すことができる、という点です。ですから、ベビーサインを使っていると、ことばの発達も早められる、と考える人たちもいます。けれど、よく考えてみると、ベビーサインを使わない家庭の赤ちゃんも、ことばを話せるようになっていくわけです。

したがって大切なのはベビーサインを使うかどうかということより、赤ちゃんの気持ちを表す素振りを見逃さないようにすることや、赤ちゃんが何かのしかたで気持ちを表すことができたならそれを思いっきりほめてあげることの方かもしれません。

そうすれば、赤ちゃんは、自分がこんなふうになればこの人は気持ちをわかってくれるんだ、ということを理解して、もっともっとはっきりと気持ちを表現してくれるようになるでしょう。そして、相手に気持ちをわかってほしい、また、相手の気持ちをわかりたい、という思いこそが、赤ちゃんがことばを学んでいく基盤になるのです。

